

主要事業の概要

●は22年度新規事業
括弧内は予算書掲載ページ

1 総務費

(1) 世界遺産登録推進 (P. 139) 462万円

(世界遺産登録推進担当)

国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向け、まちの気運を高め、地域住民の理解を深めるため、講演会の開催、小学生向けのパンフレットの作成など、登録推進事業を実施する。

また、2009年の世界遺産委員会での「情報照会」決議への対応について、2011年の世界遺産登録を目指し、国や東京都との連携・調整を行う。

●(2) (仮称) 谷中防災・コミュニティ施設の整備 (P. 177)

707万円

(区民課)

平成20、21年度に実施した谷中地区の防災性向上に係わる調査・研究を踏まえ、「(仮称) 谷中防災・コミュニティ施設」を整備する。

平成22年度は、既存施設のあり方、防災性向上に資する機能を加味した施設内容を検討し、基本計画を作成する。

2 民生費

(3) 小規模特別養護老人ホーム・身体障害者生活ホームの整備

(P. 199)

7億3,234万円

(高齢福祉課)(障害福祉課)

旧老人保健施設千束が台東病院内に移転した後の施設活用として、千束保健福祉センター内に小規模特別養護老人ホームを整備するとともに、同センター内に併設されている身体障害者生活ホーム「フロム千束」を拡充する。

平成22年度改修工事、平成23年度開設。

●(4) 子育て短期支援、いっとき保育 (P. 202)

子育て短期支援 478万円

いっとき保育 1,933万円

(子育て支援課)

子育て短期支援については、保護者の多様化したニーズに応えるため、保育サービスの一環として実施する。

また、いっとき保育については、保護者の急な用事やリフレッシュを目的とした事業である。

平成22年6月に新しく開設される※(仮称)清川二丁目福祉施設内で実施する。

△事業内容

- (1) 子育て短期支援・・・保護者が就労及び疾病等の理由により、子どもの養育が困難な場合に一時的に養育する。

①対象者 : 2歳から小学6年生まで

②利用定員 : 5人/日

③利用時間 :

ショートステイ 24時間

トワイライトステイ 午後5時から午後10時まで

(2)いっとき保育 ……保護者の急な用事やリフレッシュを目的とし、時間単位で子どもを保育する。

①対象者 : 1歳から6歳(就学前)まで

②利用定員 : 10人/日

③利用時間 : 午前9時から午後5時まで

△実施場所 清川2丁目14番10号(旧蓬萊中学校跡地)

(仮称) 清川二丁目福祉施設2階・子育て支援施設

△実施時期 平成22年6月1日

△実施方法 社会福祉法人清峰会へ事業委託する。

※(仮称) 清川二丁目福祉施設の概要

- ・敷地面積 4,469.67㎡ ・地上8階建て
- ・延床面積 11,451.54㎡

1階	高齢者在宅サービスセンター(定員40人)、 地域包括支援センター等
2階	障害者通所施設(定員50人)、 子育て支援施設
3階	障害者入所施設 (定員30人+ショートステイ定員10人)
4階 ~7階	特別養護老人ホーム (定員130人+ショートステイ定員30人)
8階	屋上庭園等

3 衛生費

●(5) 在宅リハビリテーション支援 (P. 216) 360万円

(健康課)

医療機関でリハビリテーションを受け、退院した後も継続的にリハビリテーションを必要とする区民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、区立台東病院を事務局として、区内の病院や診療所が連携し、在宅でのリハビリテーションを支援する。

△想定利用者数 50人

(6) 環境にやさしいエネルギー利用推進 (P. 235)

549万円

(環境課)

環境負荷の少ない都市の実現に向け、家庭における二酸化炭素排出量の低減を強化するため、現在実施している「太陽エネルギー利用機器設置助成」に加え、新たに、住宅用省エネルギー機器の設置を助成の対象とする。

設置する区民の費用負担を軽減することで、環境にやさしいエネルギー機器の導入を促し、家庭における省エネ化を進める。

△助成金額

○太陽光発電システム

7万5千円/kw (限度額30万円)

○太陽熱ソーラーシステム 3万円/m² (限度額20万円)

○太陽熱温水器 7千5百円/m² (限度額 3万円)

○家庭用 CO2 冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）	5 万円
○家庭用潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）	1 万円
○家庭用ガスエンジン給湯器（エコウィル）	8 万円
○家庭用燃料電池（エネファーム）	20 万円

●(7) 事業所ビル省エネ化推進（P. 235） **909 万円**

（環境課）

中小企業者等の自主的な省エネ努力を支援するため、技術専門員による無料の省エネルギー診断を実施するとともに、機器導入、設備改修費用の一部を助成する。

東京都の省エネ促進税制等にも連動した制度とすることで、事業者の費用負担を大幅に軽減し、中小企業等の事業所における CO2 排出量の削減を図る。

△助成対象

- 地球温暖化対策報告書を提出し、東京都環境局が指定する省エネ促進税制対象機器を導入した中小企業者等
- 東京都地球温暖化防止活動推進センター、台東区等が実施する省エネルギー診断に基づく設備改善を行う中小企業者等

△助成金額

機器導入・設備改修費用の 20%（限度額 100 万円）

4 文化観光費

●(8) 台東・墨田観光アートプロジェクト (P. 246)

1,011万円

(文化振興課)

東京藝術大学と墨田区との連携による地域型アートプロジェクトを、3年計画で実施する。東京スカイツリーと浅草を結ぶ地域に芸術作品を設置するなど、観光の視点を採り入れた様々なプロジェクトを展開する。本事業を通じて、芸術文化の振興を図るとともに、国際観光都市としての魅力を発信する。

△主催 台東区、墨田区、東京藝術大学による実行委員会

△時期 平成22年4月から平成25年3月

△場所 台東区、墨田区内各所、東京藝術大学

●(9) コレクション展 朝倉文夫 (P. 248)

900万円

(文化振興課)

日本彫塑界の最高峰であり文化勲章受章者でもある朝倉文夫氏の自宅兼アトリエである朝倉彫塑館（国の名勝指定）は、保存修復工事のため平成21年から4年間休館をしている。この工事期間中、朝倉作品や朝倉彫塑館の魅力の発信と鑑賞機会の創出を図るため、東京藝術大学の協力を得て「コレクション展 朝倉文夫」を開催する。

△展覧会名 コレクション展 Part 1 朝倉文夫

Part 2 芸大コレクション

△会場 Part 1 朝倉文夫

東京藝術大学大学美術館 3階展示室 3・4

Part 2 芸大コレクション

東京藝術大学大学美術館地下 2階展示室 1・2

△主催 台東区、(財)台東区芸術文化財団、東京藝術大学

△会期 平成 22 年 4 月 6 日 (火) ～ 6 月 6 日 (日)

△展示内容 約 60 点 墓守、時の流れ、大隈重信像等
内覧会、ギャラリートーク等を実施

●(10) 第 1 回したまち演劇祭の開催、

第 3 回したまちコメディ映画祭 in 台東の開催

(P. 252、P. 253)

演劇祭 2, 190 万円 (にぎわい計画課)

映画祭 6, 280 万円 (観光課)

国内外から演劇団体を誘致し、新たな客層に台東区の誇るべき文化である実演芸能に触れ合う機会を創出することで、本区の魅力を国内外にアピールし、にぎわいの創出を図るとともに、区民が身近に新たな実演芸能に触れ合える機会を提供するため、演劇祭を開催する。

また、第 3 回を迎えるコメディ映画祭も同時期に開催することで相乗効果を高め、より一層の誘客に繋げるとともに、本区の特徴を活かした事業を展開する。なお、開催期間中に会場周辺の地元商店会等と協力し、区民・来街者も楽しめるイベント等を開催し、文化・産業・観光の振興を図っていく。

【第1回したまち演劇祭】

△主催 (仮称)「したまち演劇祭」実行委員会

△時期 平成22年8月10日(火)～9月20日(月・祭)

△会場 ①台東デザイナーズビレッジ講堂・教室

<小島2丁目9番10号 小島アートプラザ内>

②上野恩賜公園野外ステージ③雷5656会館

④木馬亭⑤浅草見番⑥東洋館⑦浅草花やしき

△事業内容 (詳細は未定)

○演劇団体による公演

○地元小中学生等対象「演劇ワークショップ」の開催

○地元商店会等とのタイアップイベント

【第3回したまちコメディ映画祭 in 台東】

△主催 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会

△時期 平成22年9月16日(木)～9月20日(月・祭)

△会場 (上野地区) 上野恩賜公園野外ステージほか

(浅草地区) 浅草公会堂ほか

△事業内容 (詳細は未定)

○邦画・洋画のコメディ映画(新作・旧作)の上映

○映画出演者・制作関係者等参加イベント

○地元商店会等とのタイアップイベント

●(11) 外国語サポートダイヤル (P. 253)

100万円

(にぎわい計画課)

事前登録した区内の商店や飲食店において、外国人観光客の言葉がわからないときなどに対応するため、多言語での簡易通訳が可能な「サポートダイヤル」を設置する。これにより、外国人観光客に安心して来訪してもらうとともに、お店のおもてなし向上を図る。

平成22年度は、浅草地区を中心にモデル実施。次年度以降は、その検証を踏まえ、区全域に広げていく。

△開始時期 平成22年6月から

(12) 浅草文化観光センターの整備 (P. 254)

2億6,989万円

(観光課)

東京スカイツリー開業などによる観光需要を視野に入れるとともに、国際観光都市として相応しい施設に機能を強化し、観光客の利便性や回遊性の向上を図るため、浅草文化観光センターの改築を行う。平成22年度は、本体工事を行う。

△所在地 雷門2丁目18番9号

△新センター開設時期 平成23年中予定

5 産業経済費

●(13) 産業振興プラン策定のための実態調査 (P. 258)

570万円

(にぎわい計画課)

リーマンショックに端を発した百年に一度といわれる不況、経済のグローバル化、雇用環境の多様化、産業構造の変化など、本区の産業を取り巻く社会経済状況は大きく変化し、また、そのスピードも加速している。

こうした状況に適切に対応するには、産業を担う企業の役割や、産業を支援する行政の対応など、本区の産業振興施策の方向性を示し、具体的な事業を効果的に実施することが重要となる。

そこで、本区の産業全般における実態把握及び課題整理のためと、今後策定を予定している(仮称)台東区産業振興プラン(計画期間平成24年度～28年度)の検討資料とするため、実態調査を実施する。

(14) 街並み景観整備 (P. 259)

8,759万円

(産業振興課)

商店会の総意で「街並み景観整備方針等」を策定し、その方針により商店街で景観協定を締結した後、その協定が区から認定された場合、協定に沿って実施する街並み景観整備事業に要する経費の一部を助成する。

△実施予定商店会：雷門東部商店会、伝法院通り東商店会、
浅草花屋敷通り商店街、
奥山おまいりまち商店街振興組合

●(15) 商店街創業支援モデル (P. 259) 440万円

(産業振興課)

商店会が空き店舗を借り上げ、区内で創業し、アトリエ店舗を開設する入居者を空き店舗に誘致する。区は、商店会に対して店舗借り上げ費用の一部と、入居者に対してアトリエ店舗を開設する経費の一部を助成する。

●(16) 商店街街路灯LED化促進支援 (P. 260) 382万円

(産業振興課)

商店会が、東京都特定施策推進型商店街事業を活用し、地球温暖化対策(CO2削減の取組み)として、LED街路灯の設置や街路灯ランプのLEDランプへの交換に対し、事業に要する経費の一部を助成する。

(17) 芸術文化・産業連携モデル (P. 261) 500万円

(産業振興課)

東京藝術大学と区内地場産業事業者が協働し、商品開発を行う産学連携モデル事業を実施する。このモデル事業を通して、藝大と区内地場産業事業者の連携方法等を調査・検討し、芸術文化と区内産業の連携した商品開発を促進する。

平成22年度は、地場産業である皮革産業の製品の中でも一番身近なアイテムである財布をテーマとして、財布を「saif」と表記し、「saif」試作品の製作を行う。

6 土木費

(18) 交通システム（回遊性）検討調査（P.283） 323万円

（都市計画課）

浅草地域、上野地域と東京スカイツリーとの交通アクセスと回遊性の向上を図るため、平成21年度調査を踏まえて、交通システムの具体的な事業形態・運行事業者、車両・設備の検討など、平成24年度の交通システムの運行実現に向けた検討を行う。

(19) 新防災船着場整備（P.283） 1億3,225万円

（都市計画課）

防災性の向上、及び平常時の回遊性の充実や舟運の強化等による水辺活性化のため、東参道・二天門通り先の隅田川親水テラスに新防災船着場を整備する。

△事業内容 補足設計、工事

△対象箇所 花川戸2丁目1番地先

(20) 水辺の散策ルート整備（P.283） 7,171万円

（まちづくり推進課）

「浅草地域まちづくり総合ビジョン」の水辺活性化プロジェクトにおける水辺の散策ルートとして、新たな回遊性の創出を目指し、歩行者に配慮した街路整備を行う。

平成22年度は、特別区道台第3号線の道路整備工事を行う。

△対象箇所

特別区道台第3号線（JR総武線沿線北側区道、江戸通りから隅田川親水テラスまでの区間約230m、台東区柳橋1丁目19番～28番）

7 教育費

●(21) 幼児教育共通カリキュラムの策定（P.296） 103万円

（指導課）

幼稚園、保育園及びこども園において、あいさつや食事のマナーなど、小学校入学までに身につける基本的な生活上の習慣や態度・技能に関する、具体的な目標や指導内容を盛り込んだ「幼児教育共通カリキュラム」を策定し、幼児教育の一層の充実を図っていく。

●(22) 小・中学校ICT教育の推進（P.301、P.307）

1,268万円

（庶務課）

区立小中学校の中からICT教育を推進する実践開発校を選定し、周辺機器等を導入することによって、ICT機器を活用した実践的な教育を行う。更に、教職員研修を実施し、随時、その他の小中学校へICT教育の拡大を図るとともに、学校教育の教育効果を高める。

△効果

デジタル機器（パソコン、実物投影機、デジカメ等）を活用し、理科や家庭科、体育等の実験・実技映像をリアル

に提供する。これにより、「わかり易く・興味を引く授業を行う」とともに「授業に対する学習意欲を高める」ことにより、児童生徒の学力向上を図る。

△実践開発校

小学校（19校中）2校、 中学校（7校中）1校

●(23) 千束保育園等大規模改修

(P. 319、P. 320)

928万円

(児童保育課)

施設が老朽化している千束保育園（児童館及びこどもクラブ併設、昭和44年築）の大規模改修工事を行うとともに耐震補強工事を実施する。

平成22年度は実施設計を行う。なお、改修に合わせて、保育所定員を拡大する。

△所在地 千束3丁目20番6号

△施設概要 ○千束保育園 1～2階

○千束児童館・千束こどもクラブ 3～4階

△延床面積 1,188㎡

△スケジュール 平成22年度 設計委託

平成23年度 大規模改修工事

平成24年度 新園舎オープン

●(24) 緊急保育事業「小島保育室」の開設 (P. 319)

1 億 1, 1 3 6 万円

(児童保育課)

認可保育所に対する区民の保育需要の増加を受け、認可保育所を補完するための緊急暫定対策として保育室を開設する。保育内容は、区の認可保育所に準じたものとする。

△名 称	小島保育室
△所在地	小島 2 丁目 9 番 1 5 号 (旧小島小学校)
△延床面積	3 5 0 m ²
△開設期間	平成 2 2 年 4 月～平成 2 5 年 3 月
△定 員	1 ～ 5 歳児 7 5 名

(25) 台東区歴史・文化検定 (P. 327)

3 7 5 万円

(生涯学習課)

先人が築いてきた郷土の歴史や文化を、区内の子どもたちに伝えるため「台東区歴史・文化テキスト」を作成し、区内小学校に配付する。

合わせて、子どもたちの歴史・文化への関心を喚起するよう、テキストの内容から出題する「台東区子ども歴史・文化検定」を行い、認定証の授与等を実施する。

△対象 小学校 5、6 年生

△実施計画

平成 2 0 年度	テキストの作成
平成 2 1 年度	検定方法の検討と問題作成
平成 2 2 年度から	検定の実施 (秋頃の予定)

●(26) 第68回国民体育大会東京国体開催準備 (P.336)

36万円

(青少年・スポーツ課)

平成25年開催の第68回国民体育大会(東京大会)において、台東区はフェンシング競技の会場地とされている。本大会の開催に向けた準備を行い、大会運営を計画的に進めていく。

△大会会期・開催時期等

平成25年9月中旬～10月中旬

(このうちの11日間以内)

△台東区会場地

台東リバーサイドスポーツセンター

(今戸1丁目1番10号)